

■結成からこれまでの活動紹介

当会は、平成 16 年度 NACS 東北支部研修委員会主催のワークショップ「企業の環境報告書から見えてくるもの～環境報告書を読み比べましょう」をきっかけに結成しました。

平成 18 年度には洗剤メーカーや住宅メーカー関連についての『環境報告書を読むための一考察』を、そして、平成 20 年度には私たちの生活にとって今や欠かすことの出来ないコンビニエンスストア各社の環境報告書を取り上げ、「食の安全・安心」「環境問題」「コンプライアンス」等をキーワードに消費者の視点から討議を進め『コンビニエンスストアを考える ～消費者の視点から～』にまとめました。

平成 22 年度からは商品の容器包装に視点を向け、改正容器包装リサイクル法について検討を進める中、実態把握のため『ワケルくんバスで行くリサイクル工場見学会』を研修委員会と共催しました。

そして、平成 24 年 6 月、当面している容器包装リサイクル法の問題点と、あるべき将来展望を見据えての分析を試みたレポート冊子『容器包装リサイクル法を考える～消費者の視点から～』にまとめました。

■研究活動の進め方・考え方

環境報告書から読み取れる企業の考え方を汲み取る一方、実際に商品を購入したり施設見学などで実態を把握しながら、独自にデータを収集・解析・検証し、消費者の視点で問題提起をします。

メンバー各人が得意分野を分担することで問題点などを掘り下げ、全員で討議しながら報告書等にまとめていくことで、多角的な捉え方を学ぶ場にもなっています。